

第22回

須磨区長杯争奪少年・少女野球大会

日 時 : 令和元年5月12日(日) 19時～

場 所 : ほっともつとフィールド神戸

- | | |
|-----|--|
| 主 催 | 須磨区長杯争奪少年・少女野球大会実行委員会 |
| 運 営 | 西神戸須磨軟式少年・少女野球連盟 |
| 後 援 | 須磨区役所
神戸新聞社 |
| 協 賛 | ナガセケンコー株式会社
ダイワマルエス株式会社
オリックス野球クラブ株式会社 |

第22回須磨区長杯争奪少年・少女野球大会 開会式 式次第

日 時 : 令和元年5月12日(日) 19時～

場 所 : ほっともっとフィールド神戸

1. 選手入場

2. 開会宣言 喜多村 直子 須磨区総務部
まちづくり課地域支援担当課長

3. 国旗掲揚

4. 前年度優勝杯・準優勝杯の返還並びにレプリカの授与
6年生の部 優勝:白川 準優勝:宮川
5年生の部 優勝:花谷 準優勝:落合

5. 挨拶

主催者挨拶 (山里 勉 西神戸須磨軟式少年少女野球連盟会長
○ 志賀 久高 西神戸須磨軟式少年少女野球連盟理事長

後援者挨拶 ○ 片山 昌俊 須磨区長

来賓挨拶 ○ 兵庫県会議員代表
○ 神戸市会議員代表
○ オリックス・バファローズ

6. 審判長訓示 光辻 慎二 須磨区長杯争奪少年・少女野球大会審判長

7. 選手宣誓 花谷少年野球部 主 将 魚谷 心穩

8. 始球式 投手 議員代表 捕手 志賀理事長 バッター 片山区長

9. 閉会の言葉 三田 謙二 西神戸須磨軟式少年少女野球連盟 副会長

10. 選手退場

第22回須磨区長杯争奪少年・少女野球大会大会規則

- ① この大会の競技規則は当該年度「公認野球規則」及び「全日本軟式野球連盟競技者必携・学童野球の関する事項及び下記細則」により試合を行う。大会特別規定を設け、その規定を優先とする。
- ② 試合は7回とし、85分を超えれば新しいイニングには入らない(時間制を採用する)決められた回数、時間が経過して勝負が決着しない場合は、特別ルールで勝敗決める。
- ③ 特別ルールは、(無死満塁で打順は、監督の選択とする。尚も同点の場合は継続打順で行い決着が着く迄行う)
- ④ 6年生の決勝戦は7回とし、100分を超えれば新しいイニングには入らない。時間を超えて同点の場合は、特別ルールを適用する。
5年生の決勝戦は7回とし85分を超えて新しいイニングには入らない。時間を超えて同点の場合は、特別ルールを適用する。
- ⑤ ベンチにはチーム責任者1名、監督1名、コーチ2名、スコアラーとし最大5名までとする。監督・コーチはユニフォーム(30・29・28番)を着用それ以外はユニフォーム着用は認めない
- ⑥ ベンチは組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。試合会場を提供したチームは、1塁側もしくは3塁側を選択できることとする。
- ⑦ 大会試合球は連盟公認J球でナガセケンコー球を使用する。
- ⑧ バットは、連盟公認(JSBB)のみ使用できる。
- ⑨ 捕手は必ず連盟公認のマスク、レガース、プロテクター、ヘルメット、ファルカップを着用すること。
- ⑩ 打者、走者、ベースコーチ、次打者は必ずヘルメットを着用すること。
- ⑪ ボークは最初から適用する(5年生は1回目は注意)
- ⑫ 監督、コーチは時間短縮のためタイムを求め、球審が認めたときは、選手に指示を与える。選手交代も同様に時間短縮につとめなければならない。
なお、抗議できるのは監督のみとする。但しルールの確認行為のみとする。
どんな理由があろうと相手チームのプレイヤー及び審判員に対し、悪口、暴言を吐くことを禁ずる。
- ⑬ 試合におけるトラブルなどは球審または審判員の決定に従うこと。
- ⑭ シートノックは4分間とする(1・2回戦はノックはなし)
投球練習は、初回及び投手交代時は7球・その他は3球とする。
- ⑮ グラウンドで発生した負傷は、主催者では一切のその責任は持たない。
各チームで責任をもって対応すること。
- ⑯ 雨天の際の可否判断はそれぞれの担当役員から連絡するものとする。
- ⑰ 降雨、落雷等により試合を中止した場合、4回終了時で成立する。
- ⑱ チームは試合開始時間の45分前に本部席にメンバー表4通を提出し、先攻後攻のトスを行なう。
- ⑲ 得点差によるコールドゲームを採用する(3回以上 10点差・5回以上 7点差)とする。
- ⑳ その他運営面におけるトラブル等は、本部役員または担当役員の決定に従う事。